



佐賀県伝承芸能担い手確保支援事業について

目的

- ◆ 少子高齢化や住民意識の変化から伝承芸能の担い手不足が深刻な状況。（H29実態調査で、約9割の団体が「担い手不足」と回答）
- ◆ 伝承芸能は、地域の人と人、世代を超えて人と人とを繋ぐ「地域の宝」で、次世代に継承していくべきもの。
- ◆ 県では、担い手不足の課題を解消するため担い手確保に向けた支援を行うこととし、伝承芸能を子や孫の世代まで引き継いでいく。

内容

（事業の概要）

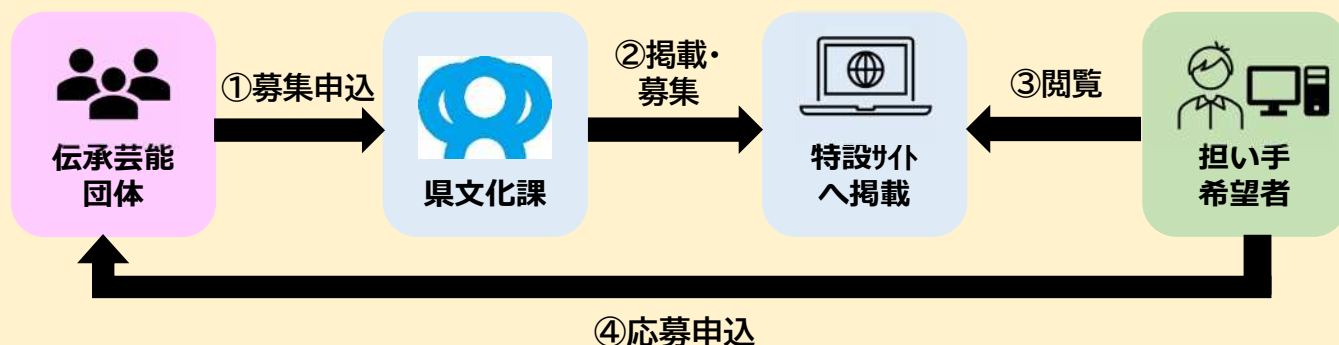
- ◆ 県が開設している伝承芸能特設サイト『さが祭時記まつりびと』上で、伝承芸能の担い手となってくれるボランティアの応募を呼び掛ける。

（事業の対象）

- ◆ 担い手ボランティアの受け入れを希望する県内の伝承芸能団体

（事業の流れ）

- ① 伝承芸能団体から県文化課へ：ボランティア募集を希望する旨の申込書を提出
- ② 県文化課：申込みのあった伝承芸能団体の情報を特設サイト『さが祭時記まつりびと』に掲載し情報発信
- ③ 担い手を希望する方：特設サイトで派遣を希望する伝承芸能団体を選ぶ
- ④ 担い手を希望する方から伝承芸能団体へ：伝承芸能団体へ直接連絡しボランティアを申し込む



（事業の時期）

- ◆ 伝承芸能団体からの申込みは随時受付
（受付からサイトへの掲載までの期間は2週間程度）